

# がんばらば

勇氣

生活部長 松本博



最近よく「愛の一声運動」という言葉を聞くが見も知らぬ子どもに声をかけるといふことは大変勇氣がいるものである。

店先で用もないのにうろうろしている子どもを見かけても、だまって見すごすか。この子は何をしているのだろうというふうな目で見るかが関心の山である。

「ここで一声かければ」と思っているにもかかわらず、聞かれない。声をかけるにしても、そのチャンスと技術が必要である。

「わあ」と、わざと指をくわえておどけて見せると、子どもは「ニヤツ」と笑っている。そいでお菓子を紙に包み帰っていく。

自転車の二人乗りを注意するのにならぬと、二人乗りはあぶない。おりに「二人乗り」といって、その場では飛びおりのかもしれないが、子ども達は、よい感じでは受けとらない。

子ども達自身で反省するよきな言葉をかけてやるように心がけよう。

市中ですれちがったり、店先で見かけたりしたとき、声をかけるのは大変むずかしいことだが私達は勇氣を出して実行しましょう。

その一声で、横道にそれかけた子どもに、正しい道を教

報行部印刷所  
友会報  
小育報  
三島発  
印刷所  
か印  
つる

な仕事です。

ある商店で、万引をしようとしていた子どもが、買物にきていたどこかのおかあさんの勇氣あるしかもやさしい心づかいで、商品をおいて帰っていったという事例を聞いておられます。

同じ年代の子をもつ親として、そのおかあさんの勇氣と適切なご指導に心から感謝しております。

お盆の十四日に、こんな情景を見かけた、お寺の位牌堂にお参りするため、本堂の後にまわると、位牌堂に通ずる廊下の入口にスリッパが散乱している。沢山の人達が、使

っているうちに、こんな状態になったのだろう。

すると私の前を歩いていた四十才ぐらいのおかあさんが隣の中学一、二年と思われる男の子に「〇〇君、このスリ

ッパをかうけてからお参りしましょう」といって十四、五足もあったスリッパをアツという間に整理してしまった。私は、不覚にも、その親子の行動を傍観していたのだがその間にも、お参りをすまして帰る人達が次々と来る。

その人達も親子の行動を見て一人一人がスリッパ入れにきちんと入れて行くようになった。すがすがしい心を洗われるような情景に感激しながらお参りをすました。

次の十五日には「きょうはどうなっているだろう」と考えながら位牌堂へ行くと、あそこからあとおそく数百人の人達が使用したであろうスリッパがきちんと整理されている。

あのおかあさんの一言は、どんなにえらいお上人のありがたいお説教よりも沢山の人の心をすくったように思われる。

ちょっとしたことだが、それを実行するには、大変な勇氣がいる。

今でも、ときどきあの情景を思い出して、ともすれば、くじけそうになる自分自身をいましめている。

お母さん方へ  
お願い

教頭 吉田博

「うちの子どもは少しも勉強しません。どうしたらよいでしょうか」とお母さん方からよくきかれます。

最近の子どもの勉強は私たちの子どもの時代とくらべ量もふえ確かにむずかしくなっております。ご両親の最大の関心が勉強であり「お勉強だけはしっかり」と常日頃から願っておられるお気持はよくわかりますが、お勉強、お勉強とすすめる前によく学習習慣を身につけさせることが大事ではないでしょうか。

勉強の習慣というのは、勉強時間の問題だけではありません。家庭学習でいいますと予習、復習のしかた、本の読み方、参考書の利用等はいうまでもありませんが、ほかに勉強部屋を整頓のしかた、注意集中のしかたなど考えられます。こうした習慣は子ども自身がいっている試み経験をつむことによつてはじめて身につくものです。よい学習習慣をつけた子どもに育てるこ

# 交通安全運動

交通部長 伊藤 八 郎

計 画

認識させ社会行事を契機として一層安全に対する関心を高め態度を育成する。」

目標「交通安全の意義を

九月二十七日より十月六日迄行なわれ、ました秋の交通安全運動に当たり交通部は次の目標を計画し安全運動に協力するということである。活動致しました。

安定した豊かな心から向上心やお勉強の意欲もわいてきます。

とは、なまやさしいことではありませんが、一旦身につけると多くの勉強を効果的に進めて行くことが出来ます。お勉強の基本的習慣は三、四年生までにといいわけています。それまでに、その年令にふさわしい豊かな生活心をもった子どもに育てるようにしてください。

(イ) 交通部会並びに班会の開催により諸計画の企画の発行と八ミリ撮影による実践記録活動  
(ハ) 実践活動として毎朝の交通指導(交通部員・各町内育友会員・学校の先生等)

(ニ) 点検活動として子供の自転車の点検  
遊び場通学路の点検  
(ホ) 育友会員の交通教室開催  
この目標を重点として諸計画の達成に全力を上げる様努力する事になりました所、皆様方には早朝で一番多忙な時間



にもかゝらず熱心に補導をして戴き大変お疲れのことだったと思います。又三小育友会員八〇名のうち四七〇名と云う多数の方々が各町にわたり御活躍下さいました事に、つきましては深く頭のさがる思いです。この様に皆様の協力を得る事が出来ました事は、校長先生始め諸先生方の御指導と市より伊藤助役加藤民生課長様にも励しに來て戴いた事や山本会長、森本石本両副会長さんにも度々街頭の補導や激励に廻って下さったおかげで今日の成果を納





める事が出来たものと深く感謝致します。  
尚「終りなき戦い」と迄云われまます今日の交通事情特に子供の死亡事故の増加を警告されまます時学校での指導をより効果的に生かす様、家庭での躰として日々心を新たにし

て今後も御指導(下さいませ)す様お願い致し二学期無事故で子供達の楽しい笑顔が続きます様協力の程を重ねてお願い致します。  
更に本計画実行全面にわたる島原警察署長始め、交通係の方々安全協会の皆様方に御

指導戴きました事を心から感謝申し上げ厚く御礼申し上げます。最後に全家庭の保護者の皆様方に交通部の立場から是非次の事をお願い申し上げます、先ず親から良い手本を示し

遠(渡)り(り)も、きちんと、横断歩道を渡たる事や、ドライバードとしても安全運転を実行すること等、特に子供の目にふれるところで、間違った行動に出ない事を育友会員の一人としてお互いに心に誓い

時間がほしかった。  
あまりよくなかった。  
四、車内のことについてお氣付きがありましたら書いて下さい。  
なごやかで楽しかった。  
帰りは大変おもしろくて距離が短いからだ。  
五、来年度の研修目的(学習保健、育友会...)場所などありましたら書いて下さい。  
六、その他のお気付きをお願いします。

アンケートのまとめ

育友会研修旅行

島三小 教養部

目的地 佐賀市武雄小学校

期 日 六月四日

参加人員 一十二名

一、今度の研修旅行は、よかったと思えますか。  
良かったという人がほとんどでした。

二、育友会活動の面でよく努力されていると思いませんか。(どんな面で)

(イ) 育友会の自主的活動  
給食費の集金方法  
(各町内で集金)

ベルマーク集め

右の点でよく協力、努力されていた。  
施設設備など三小の参考になるものがありましたか(たとえばどんな施設設備か)

理科室、家庭科室、体育館、洗便所などいきとどいた施設設備に感心した。

三、有田の見学はいかがでしたか。  
参考になりよかったです。特に製造過程)目の保養になってよかったです。

四、車内のことについてお氣付きがありましたら書いて下さい。  
なごやかで楽しかった。  
帰りは大変おもしろくて距離が短いからだ。  
五、来年度の研修目的(学習保健、育友会...)場所などありましたら書いて下さい。  
六、その他のお気付きをお願いします。

本校でもベルマーク集めの日をきめたらどうか。  
町内や学級で集って作業をしたらどうか。(共通の話題の広場が出来る)廃品回収を是非実施して傘を各学級設置したらどうか。  
他校の長所はできるだけとりいれて育友会発展の素地にしていきたい。  
※ 付記  
アンケートの回収を後日にまわした関係で参加者の三分の一程度しかみることができませんでした。御協力ありがとうございました。来年度のよき旅行を念じています。

体育行事の記録

本年度中に実施されました重な運動競技の記録を広報を通じまして皆様方にお知らせいたします。

一、球技大会

(育友会生活部主催)

- 期日 七月二十九日
- 場所 霊丘公園 本校校庭
- 種目 男子ソフト

男子

- A ベート 湊新地
- B // 豊南白土下
- C // 津町
- D // 蛭子町

女子

- A ベート 蛭子町白土下
- B // 有馬船津
- C // 津町・湊新地
- D // 元舟津・崩山

(育友会生活部主催) 期日 八月十一日 (三小プール)

一位のみ

- 三年男子自由型25メートル 釣崎大功(二五秒八)
- 四年男子平泳25メートル 山本由夫(二五秒〇)

- 四年男子自由型25メートル 山本由夫(二八秒〇)
- 五年男子平泳25メートル 宮崎洋三(二七秒〇)
- 五年男子自由型25メートル 甲斐田弘道(一八秒八)
- 五年女子自由型25メートル 松下八重(二一秒〇)
- 六年男子平泳25メートル 中村 誠(二〇秒〇)
- 六年男子自由型25メートル 大崎光修(一七秒四)
- 六年女子平泳25メートル 今坂裕貴子(二〇秒〇)
- 六年女子自由型25メートル 今坂裕貴子(二〇秒〇)

- 五年男子平泳50メートル 上田武寛(五五秒〇)
- 五年男子自由型50メートル 甲斐田弘道(四三秒〇)
- 五年女子平泳25メートル 福島葉子(二九秒〇)
- 六年男子平泳50メートル 駕崎公二(五六秒八)
- 六年男子自由型50メートル 大場光修(一七秒〇)



三、校内水泳大会

(参加学年四年以上) 期日 九月九日 (三小プール)

一位のみ

新は新記録の略

- 四年男25メートル自由型 中田博文(二〇秒二)
- 四年女25メートル自由型 梅田恵子(二〇秒八) 新
- 五年男25メートル自由型



- 五年女25メートル自由型 安藤雄啓(一八秒〇) 新
- 六年男25メートル自由型 宮崎尚子(二〇秒七)
- 六年女25メートル自由型 大場光修(一六秒六)
- 四年男50メートル自由型 中田博文(四四秒〇) 新
- 四年女50メートル自由型 梅田恵子(四九秒〇)
- 五年男50メートル自由型
- 五年女50メートル自由型 甲斐田弘道(四一秒五) 新
- 六年男50メートル自由型 福島葉子(四九秒二) 新
- 六年女50メートル自由型 大場光修(四〇秒四)
- 四年男25メートル平泳 井上 修(二五秒一) 新
- 四年女25メートル平泳 松下律子(三〇秒一)
- 五年男25メートル平泳 岩永安弘(二四秒二) 新

が ん ば

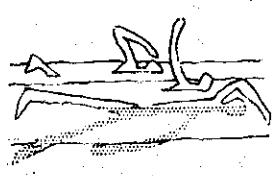
(5)

○五年女25メートル平泳 福島葉子(二七秒二)  
 ○六年男25メートル平泳 菊田久孝(二〇秒八) 新  
 ○六年女25メートル平泳 木下弘子(二六秒六)  
 ○四年男50メートル平泳 山本由夫(五六秒六) 新  
 ○五年男50メートル平泳 上田武寛(五七秒五)  
 ○六年男50メートル平泳 鬼塚健二(五二秒六)  
 ○五年女50メートル平泳 今坂裕貴子(五三秒二)  
 ◎学級対抗リレー  
 (男子)  
 四年四組(二分三七秒六)  
 五年一組(二分二〇秒〇) 新  
 六年四組(二分一九秒四) 新  
 (女子)  
 四年四組(二分三六秒四) 新  
 五年五組(二分三〇秒〇) 新  
 六年二組(一分一七秒六) 新

四、島原市民水上祭  
 (新は新記録の略)  
 期日 九月五日  
 (三小プール)  
 ◎50メートル自由型  
 一位 松尾 瞳(四四秒二) 新  
 二位 黒沢英美(四四秒二) 新  
 三位 今坂裕貴子(四四秒七) 新  
 四位 荒木範子(四五秒二) 新  
 七位 松田千春(五六秒〇) 新  
 ◎50メートル平泳  
 二位 中村 誠(四九秒五) 新  
 三位 菊田久孝(五三秒〇)  
 ◎100メートル自由型  
 一位 大塚修(二分六秒〇) 新  
 二位 甲斐田弘道(二分四九秒〇)  
 三位 赤石和明(二分五〇秒五)  
 ◎100メートルリレー(女子)  
 一位 三小A(二分八秒〇) 新  
 二位 三小C(二分二六秒〇)  
 ◎50メートル平泳(女子)  
 二位 今坂裕貴子(五二秒三)  
 三位 木下弘子(五六秒八)  
 ◎100メートルリレー(男子)  
 一位 三小A(二分二秒〇) 新  
 三位 三小B(二分一五秒〇)  
 四位 三小C(二分一七秒五)  
 ◎25メートル自由型(女子)  
 一位 黒沢英美(二八秒〇) 新  
 二位 児玉厚美(二八秒二)  
 三位 松尾 瞳(二八秒三)  
 ◎50メートル自由型(男子)  
 一位 大場光修(三九秒〇)  
 二位 甲斐田弘道(四一秒二)  
 四位 中田博文(四二一秒〇)  
 ◎100メートル平泳  
 二位 鬼塚健二(分五八秒三)  
 三位 中村 誠(分五秒〇)  
 四位 浜田敏明(二分七秒二)  
 五、秋季大運動会  
 期日 九月二十六日  
 (本校々庭)

一位のみ  
 種目 (学級対抗リレー)  
 一年一組(二分三四秒三) 一年・半周  
 二年三組(二分五五秒一)  
 三年四組(二分四二秒五)  
 五年一組(二分三八秒四)  
 五年一組(二分三〇秒〇)  
 六年一組(二分二五秒五)  
 (少年団町内対抗リレー)  
 男子 浦田上(二分三三秒九)  
 女子 新山(二分三〇秒九)  
 六、小体連  
 期日 十月二十一日  
 (一中校庭)  
 ◎高 五年 三位 安藤雄啓  
 四年 三位 坂本由美  
 ◎中 四年 三位 水田裕三  
 五年 二位 松尾孝文  
 ◎投 四年 一位 永石祐子  
 四年 三位 山本由夫  
 ◎懸 六年 一位 脇野孝晴  
 四年 一位 児島由佳  
 ◎走 五年 二位 本田浩信  
 五年 二位 吉田 悟  
 六年 二位 中村辰也  
 六年 三位 大田和幸  
 六年 一位 吉田和子  
 六年 二位 宮崎由美子  
 四年 100メートル

◎二位 園田哲也  
 ◎三位 村上和紀  
 ◎一位 梅田恵子  
 ◎四年400メートルリレー二位 園田哲也・橋本徳彦  
 ◎村上和紀・中村豪志  
 ◎五年200メートル 一位 小島龍彦  
 ◎二位 池田和隆  
 ◎三位 松下 剛  
 ◎五年50メートル 三位 吉田幸代  
 ◎五年100メートル 一位 岩永安弘  
 ◎五年800メートルリレー一位 小島龍彦・森本敏夫  
 ◎池田和隆・松下 剛  
 ◎六年800メートルリレー三位 出田浩芳・大場光修  
 ◎菊田久孝・村上正彰  
 ◎六年100メートル 三位 柴田善美



武雄小学校見学記

副会長 森本定義

去る六月四日実施された日実施された旅行は、生増の風雨に見舞はれましたが、会員の方の積極的な参加によりまして、帰路には天候も回復し、研修旅行の掌に当てられた関係者は、目的達成にホッと胸をなでおろされたこととでしよう。  
 本当にご苦労さまでした。  
 以下視察いたしました武雄小学校での見聞したことを簡条的にご報告いたします。  
 一、児童総数一、三八五名(男子七二二名、女子六七三名) 学級数三七学級(うち特殊三学級) 育友会員一〇一八名 附属設備、プール、体育館  
 一、武雄市七校のうち五校まで現職の市議会議員が会長に選任されているらしく、又現、市長自身も育友会長の経験者で、教育行政面に

ついでには深い理解を示され  
ているそりです。

一、義務教育費の父兄負担軽減  
減という問題についての推  
進状況は、本市より一步先  
んじているように感じまし  
た。

公営競輪事業収入から市の  
一般会計繰入金が四億円だ  
そり、この数字は年間の  
市税収入に見合う金額だそ  
りです。

一、育友会々費一人月五〇円  
(教職員同額)二人以上七  
〇円、予算総額七九万五千円  
(本校予算額とほぼ同額)  
の八八%が育友会活動費に  
充てられ、残りの一二%が  
援助費的、性格のものに使  
われている。

このほか、会費外負担とし  
て児童一人当り二〇円(年  
間約三万四千円)は教育振  
興費として徴収され、保健  
体育面のレコード、ボール  
等の購入費に使われている  
そりです。

一、専門部活動としては、総  
務部(教養、学級)施設部  
(環境)教化部(生活、交  
通)保健体育部、新聞部(広  
報)の五部制をとり、活  
動が展開されておりす。

専問部名)なかでも施設部  
員によるベルマークの収集  
整理作業が殆んど毎月実施  
されているそり、それに  
よる見返りとして学校用器  
具等が金に換算した場合、  
年間六万円程度の実績を  
あげているそりです。  
なお、保健体育部では春秋  
二回の体育大会に部員が中  
心となって会員が部落輪番  
制によりバザーを開きその  
益金をテント購入資金にし  
ており、前年度の決算書か  
ら見た収益金は春季二万八千  
円秋季二万三千円でありす。  
給食費の徴収事務について  
は会員の中から各部落毎、  
給食費徴収委員が委嘱され  
\*\*\*\*\*

円滑な給食費の徴取取纏め  
を実施しているそりです。  
その外各教室に雨傘を備え  
不測の降雨に活用されてお  
り、現在の保有数は六〇〇  
本で、今年度の予算に四万  
円の雨傘購入費が組まれ  
ております。

以上限られた時間において見  
聞きましたことを申述べまし  
たが、参加した方、参加出来  
なかつた会員の方、ともども  
本校育友会活動と対比して優  
れている点、劣っている点、  
又は努力しなければならぬ  
点等の参考になれば幸いかと  
思います。

### 研修旅行を終えて

霊南町 高杉房枝



校長先生の「私は雨の神様  
と言われているそりで本当に  
皆様には申訳ありませんので」  
……挨拶と共に土砂降りの  
雨の中を目ざす武雄小学校へ  
と出発。

あまりの悪天候に一時は大  
変心配をいたしましたが無事  
目的地に到着いたしました。  
校内はさほど大きな学校でも  
なさそうだなと思ひながら中  
に入りましたが奥に入る程に

立派な近代的建物にびっくり  
いたしました。

校長先生、育友会長、役員  
の方々のお話をお聞きしてい  
るうちに大変有福な学校であ  
ることがうかがわれ(市当局  
の財政の相違だろうと思ひま  
す。)又各専門部活動が活発  
で育友会の各役員の方々が学  
校内の事に大変くわしいと言  
う感じがありました。

それぞれ学校のいろいろな  
特色があつて全面的三小に取  
入れると言ひ事は不可能と思  
ひますが、ベルマーク回集な  
ど私共学校でも手軽に取入れ  
られる事じやないかと思ひま  
す。

無料にて色々な教材などい  
ただけるのですから毎月の回  
集日など徹底させ、大いに活  
用してはいかげしょう。  
帰りのバス内のレクリエー  
ション、大変楽しく過させて  
もらひ久し振りに腹の底から  
笑ひました。

小島さん、入江さんを始め  
皆様本当に有難うございまし  
た。

校長先生ご心配の雨も帰り  
にはやみ(ひどい降とん、  
ここんにきて校長先生はお  
そかい、なんて冗談も飛びだ

しながら)責任の半分は軽く  
なられたことと存じます。  
どうぞご安心下さい。

和気あいあいの内に会員相  
互の親睦をはかり、有意義な  
研修旅行を終えたことと思ひ  
ます。



暑からず、寒からず、降りも  
せず、照りもせず、子供達も  
元氣一杯、然も慣例になつて  
居た寄附金も廃止され、本当  
にすっきり  
した楽しい  
運動会でし  
た。

### 運動会をふりかえつて

帝 古瀬 部長 教養

日頃練習  
した成果を  
せいいっぱ  
い發揮して  
皆んなの人  
に見てもら  
つた子供達  
の胸は、は  
りさける様  
で、本当に明るいものでした。  
一着になつて喜ぶ子、びりっ  
けつになつた子、自分は何着  
だったろうと頭をひねる子、  
お父さんは来て居るかなあ、  
お母さんは見て居るかなあ

気をとられながら遊戯する子  
色とりどりの子供の表情、吾  
が子ながらよくもこんなに  
来たものだと、ほころぶ親  
たち、本当になごやかな風景  
でした。

先生方がプログラムに従っ  
て各種目を汗を流しながら、  
真剣にしかも敏速確実に進  
行される模様を見て御苦労の  
感謝したいものです。種目に  
就いて考えますと、専門部競  
争、職員競争、幼児競争は非  
常にユーモラスで運動会に色  
どりをそえた様です。

お母さん方のリズム運動が  
なかった事は何となく寂しい  
様でした。  
青年団対抗職場対抗リレー  
は地域ぐるみのリクレーショ  
ンと云う意味でも、もう少し  
町内育友会に於て啓発し多数  
の参加をお願いしたいもの  
です。

一方交通部の方々の御指導  
も注目に価するもので御苦労  
だったと思います。  
本年は各町内代議員の方々の  
努力と会員の自覚によりま  
して、昼食後の跡片づけ、場  
内整理に就いても立派に出来  
た様です。  
学校側からのお話しによる

と、窓を閉める。どこか教  
室も忘れて居たとの事ですが  
これも頭に入れておきたいも  
のです。又二階の窓や屋上か  
ら見て居る人があり、ガラス  
一枚が破損した様でしたが、  
本当に危険なことですから来  
年からは運動会のキャリを充  
分守って、こんな事のない様  
にしたいものです。

尚此の頃はカン入りやビン  
入りの飲み物が多く出廻って  
居る関係もあって、跡始末が  
不充分だった様で、殊に屋上  
でビンが破損されて周囲にと  
びちり非常に危険で整理に困  
まられたそうです。こんな不  
心得のない様、又こんなもの  
は各自持ち帰って処理した方  
が、子供達の教育上も好影響  
を及ぼすのではないのではし  
うか。

楽しい運動会、思い出の運  
動会にするため、多くの人が  
色々な面に於て、藎の御苦労  
をして居られる事を、会員各  
自が理解し、協力して頂きた  
いと願うものです。  
最後に運動会の費用の市負  
担は喜ばしい事ですが、来年  
は更に増額され完全な市負担  
を実現して頂く様、会員各自  
の御協力と啓蒙を御願する

### 夏休みの反省

#### 「ホツと一息」

渡新地 大島政助

夏休みが終って、一番ホッ  
とするのは親達ではなかるう  
か。

子どもの姉妹喧嘩、家内の  
カン高い叱声、この騒音から  
解放されるからである。学校  
へ送り出した後の、なんと静  
かなわが家よ、と思う反面チ  
ョピリさびしさを感ずる。  
家内はよくこぼす「夏休み  
になつたら一つも勉強しない」  
「生活時間がぜんぜん守れな  
い」「今年こそは、今年こそ  
はと思ひながら毎年同じこと  
の繰り返しよ」と、あたかも  
父親のせいでもあるかのよう  
に私の前ではよけいヒステリ  
ックになる。戦後、強くなっ  
たのは女と靴下」というが、  
新婚時代の態度はいつしか消

え、妻と、立場を忘れ、子  
どもを育てる(自分のいいな  
りになるようにすること)の  
みが人生の総てと考えている  
ようである。  
「沈黙は金なり」ということ  
わざがあるが、亭主族は黙っ  
ていることが、妻に対する最  
上の抵抗であり、威厳を保つ  
方法であるように最近を感じ  
るようになった。  
嫁々天下、子どもの教育の  
第一人者、これが妻の雄姿な  
のだ。  
考えてみると、昼は仕事、夜  
はチョット一杯のつもりなど  
など……脱家庭主義の亭  
主族であつてみれば、それが  
当然のならゆきかも知れない。  
たまたま子どものしつけに  
ついての態度を(自分の態度  
は棚上げ)「夏休みは、子  
どもの体力の増強と、伸び伸  
びと生活させることが目的だ  
という」と、うちの騒音公害ど  
うもは伸び伸びと体力の増強の  
みに力を入れ、他を省りみな  
い。とたんにシッペ返しに飛  
んで来る「遊べ遊べ」というか

ら、子ども達はぜんぜん宿題  
はしていないじゃないの」で  
ある。「俺は宿題をせずに遊  
べとはいっていない」と聞き  
直つてみても所詮、夏休みの  
終り頃夜おそくまで親子の宿  
題仕上げが始まると、しっ尾  
を巻かざるを得ない。

どこにうっぶんの持つて行  
きどころがなく、ついには「  
学校教育の在り方が悪い」自  
分自身を擁護するのである。

とかく夏休みは、子どもと親  
親達夫婦になんと騒音の多い  
ことよ。これも子どもを健全  
に育てるためもう得ないこと  
だろるかと思問を感じながら  
わが家の家庭教育は問題点だ  
らけであることと痛感する。

来年の夏休みこそは、と終  
ったとたん思うのだが、毎年  
同じことの繰り返しで今後は  
夏休み中だけではなく、普段  
のしつけから考えようと思っ  
ている。

来年の夏休みこそは、と終  
ったとたん思うのだが、毎年  
同じことの繰り返しで今後は  
夏休み中だけではなく、普段  
のしつけから考えようと思っ  
ている。



### 現代の

## 子供について

学級部長 織田 均

最近先生と父兄のお話の中で、この頃の子供は物を大切にしないと言言葉が聞かれることが多い。先生のお話でも学校では物忘れが非常に多く忘れても取りに來ない。「物を大事にしろ」と教えたところで今や使い捨て時代の真只中に育っている子供には効きめがありません。何と云って説明したらよいかと頭を悩ませますが、こう云う例を聞きましたので紹介いたします。小学校の子供が教室の中で机を動かして暴れ廻って机がこわれる。椅子がこわれる。先生が「机や椅子を大事にし給え、物を大切にしないでいいか」と話しても子供は全然受けつけない。そこで先生が「皆んなうちへ帰ってお父さんの月給が幾らで税金がどれ位か聞いて來なさい」と云いつけた。翌日子供達は「ハイうちのお父さんは月給七万円、税金は一万五十円」「うちのお父さんは八万円、税金は二万五千元」と云うことを

答える。そこで先生は「いいか皆んなお父さん達の税金でこの机や椅子が買えるんだぞもし君達がこわしたらまたお父さんのところに税金がぞつとかよってくるんだぞ」と話したところ子供はよく理解しそれから机や椅子を大事にするようになったそうです。これは子供達が日常の会話の中で「税金がひどくて困る」と云うことを常に聞いているからですが、この頃の子供達は金銭観が非常にドライで非常に合理的に判断するわけですから云う論法でないと言々说得できないということですが、われわれ父兄として一考すべきことではないでしょうか。

### 県PTA

## 大会報告

育友会長 山本 篤五郎

去る七月二七、二八の両日五島の福江市において、県PTA大会が行なわれました。A第一日V 午前中は表彰その他諸行事の報告などがあり午後から各分科会、分科会に分かれての研究発表と討議が行なわれました。私は、第一分科会第二分科会「PTA

の組織と運営はどうあればよいか」という研究と討議に参加しました。

先ず、西彼時津小保育会長富永氏の発表で、保育会（保育友会）の概要と、今年度重点目標の説明がありました。

組織と活動は何れも私たちの育友会と大して違いはありませんが、今年度重点目標のうち

(1)特に、活動計画を末端にまで徹底させることに努力を

はらい、部落保育会に各専門部の班をつくり、みんなが専門部員として活躍する。また

専門部報を発行する。

(2)規約を分りやすい、親しめるものにするために改正委員会を設けて検討している。

次に、佐世保市旭中育友会副会長大霜氏の発表は、主として母の会、スポーツ少年団の活動についてでしたが詳細は略します。

その後、以上二つの発表に対する質疑や意見の発表などが行なわれましたが、ほとんどが私たちの育友会できりあげ、或いは実行していることばかりで、特に参考になると

思うものはありませんでした。A第二日V シンポジウムと

記念講演がありました。シンポジウムでは、教師、母親、学識経験者（学者、ジャーナリズム）の立場から代表の方々が意見をのべられました。その中から「教育費父兄負担の軽減問題について」

(1)市町村の財政事情にもよるが、中には与論の追求をかわすための、お茶をにごす程度の軽減を行なう市町村もあるのではないかと。

(2)安易に寄附行為に走るまえに、もっと与論を起し実現をはかるべきではないかと。

(3)それはもっともであるが何時まで待たたらよいか分らない。もっと現実的に考えるべきだ。

見が交されました。「PTAの活動について」

(1)会員のなかに不満の声が多い。どうしてそれを「意見」としてまとめ上げないか。

(2)学習活動が余りにも「教育」の直接的なことに偏っている。もっと幅広い一般的教育やリエクレーション的なものもやってよいのではないかと。

(3)役員るときは、一生けん命指導などにも活躍する人が

ようになる。———などの鋭い指摘や反省がありました。記念講演は「世界の教育情勢と日本の教育」という題でしたが、先日の伊藤昇先生のお話とほとんど同じ内容でしたので略します。

### 編集

## 後記

今年度第二号「がんば」の原稿募集につきまして、長らく研修旅行の記事をあづかりこのたびの発行になりましたことをお詫びいたしますと共に、寄稿下さった皆様に、係一同感謝いたしております。今後「がんば」発展のため、皆様の御協力をお願いいたします。

